

# Smart



オンラインでかしく行動するためのヒント

## ヒント 1

じっさいの世界と同じように、インターネットでも前向きなせいでいましょう。

写真、コメント、メッセージなど、あなたが共有した情報やあなたについての情報は、いったんオンラインで公開されるとその後ずっと残るかもしれないということを忘れないでください。

## ヒント 2

投こうする前に考えましょう。

他の人の投こう、写真、コメントに反応しない、事実でないことをシェアしないなど、投稿すべきでないタイミングを知ることが大切です。

## ヒント 3

ひみつを守りましょう。

住所、メールアドレス、電話番号、パスワード、ユーザー名、学校でもらったプリントなどを知らない人と共有してはいけません。

## ヒント 4

オンラインの人たちから見たあなたのイメージは、あなた自身で思っているイメージとはちがうものです。

同じ情報を見ても、そこから感じ取ることは人によってちがいます。

## ヒント 5

他の人がプライバシーについて選んだことは、たとえあなたが選んだこととちがっていても、大切なことと考えましょう。

オンラインでもオフラインでも、場面によってとるべき対応は変わります。

# Be Internet Strong

オンラインで強くなるためのヒント



## ヒント 1

**安全なパスワードを作りましょう。**

パスワードは8文字以上にして、アルファベットの大文字と小文字、数字、記号を組み合わせます。

## ヒント 2

**パスワードを変えましょう。**

大切なアカウントでは、それぞれにちがうパスワードを使います。

## ヒント 3

**くふうしましょう。**

かんたんに思いつくパスワードは使わないでください。たとえば、あだ名、学校の名前、好きなバスケットボールチーム、数字だけのパスワード(「123456」など)は使わないようにします。また、「password」というパスワードは絶対に使ってはいけません。

## ヒント 4

**個人情報は使わない。**

パスワードには、個人情報(名前、住所、メールアドレス、電話番号、マイナンバー、お母さんの結婚前の名字、たんじょう日など)や、よくある言葉を使ってはいけません。

## ヒント 5

**めんどくさがらずにパスワードを変えましょう。**

知らない人や信らいしていない人にパスワードを知られたかもしれないときは、すぐにパスワードを変えてください。

# Be Internet Alert

オンラインで注意深くなるためのヒント



## ▲ ヒント 1


信らいてできるサイトかどうかしっかり確認しましょう。

はじめてアクセスするサイトでリンクをクリックしたりパスワードを入力したりする前に、サイトの URL が商品や会社の名前、探している情報と同じになっているかチェックしましょう。

## ▲ ヒント 2

安全なウェブサイトを使いましょう。

ウェブサイトの URL が「https://」で始まっていて、左側に緑色のカギのしるしがついていることを確認します。

例: 

## ▲ ヒント 3

さぎにだまされないようにしましょう。

メールやサイトで信じられないようなこと（大金がもらえるなど）を提案されたときは、ほとんどの場合はうそです。にせ物のメッセージにだまされないでください。

## ▲ ヒント 4

だれでもさぎにだまされる可能性があります。

オンラインでさぎにあった場合は、すぐに保護者、先生、その他の信らいてできる大人に知らせ、アカウントのパスワードを変えてください。

## ▲ ヒント 5

注意! ウェブサイトや広告には、あなたのスマートフォンやタブレットに問題が起こっているかどうかはわからないはず  
です。

スマートフォンやタブレットの調子が悪いなどと言って、マルウェア（悪いことをするソフトウェア）やいらぬソフトウェアをダウンロードさせようとするさぎがあります。

# Be Internet Kind

オンラインで思いやりを持つためのヒント



## ヒント 1

良いことをするという約束を守りましょう。

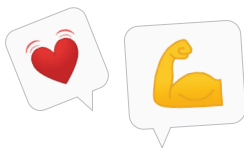
オンラインでも現実でも、自分が人にしてもらいたいことを他の人にしてあげましょう。例: いやがらせを報告したり、保護者、先生、学校のカウンセラーなど助けてくれる人に相談したりしましょう。

## ヒント 2

行動を起こす人になりましょう。

行動を起こす人は、悪い行動に対して、思いやりと前向きな気持ちをもって立ち上がります。例: いやがらせを報告したり、保護者、先生、学校のカウンセラーなど助けてくれる人に相談したりしましょう。

## ヒント 3



ちょっとした行動で後ろ向きなやり取りを前向きなやり取りに変えましょう。

例: だれかがオンラインで友だちに対して良くないことを投稿したら、友だちみんなで「思いやりの山」を作りましょう。いじめられている人について思いやりのあるコメントをたくさん投稿しましょう（ただし、いじめている人に対する意地悪なコメントはダメ。仕返すのではなく、みんなのお手本になりましょう）。

## ヒント 4

何をどう伝えればよいか、きちんと選びましょう。

例: 現実の世界で言わないようなことは、オンラインでも入力しないようにしましょう。

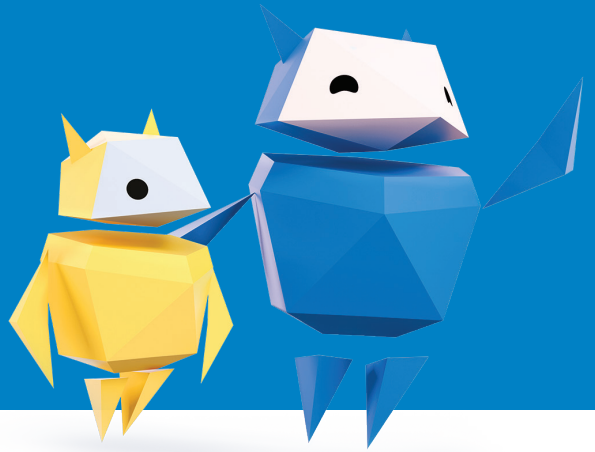
## ヒント 5

オンラインで思いやりを広げましょう。

Be Internet

# Brave

オンラインで勇気を出すためのヒント



## ヒント 1

**良くないものを見つけたら声を上げましょう。**

いやな気持ちになる情報を見つけたら、勇気を出して先生、校長、保護者などの 信らいてくれる人に報告してください。

## ヒント 2

**だれかに話しましょう。**

何をすればよいかわからないときに助けを求めることは勇かんな行動です。それによってあなたや他の人のつらいことが減ったり、いやなことが起こらなくなったりすれば、かしこくて勇気がある行動だったと言えます。

## ヒント 3

**問題があるコンテンツは報告またはブロックする。**

報告することは、関係者やコミュニティの役に立ちます。サイトやアプリでブロックやレポート用のツールを使っている場合は、プラットフォーム(ソフトウェアやオンラインのサービスを提供する土台)そのものの役にも立ちます。

## ヒント 4

**証こを手に入れる。**

問題のあるコンテンツをブロックまたは報告する前はいつでも、そのときのことを記録しておくために、スクリーンショットをとっておきましょう。

## ヒント 5

**こわがらない。**

知らない人からあやしいメッセージやコメントが届いたら、信らいてくれる大人に見せて、その人をブロックして報告しましょう。